

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 162 号 2011. 10. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

みかんジュースゼリーで元気に！

柏市 山崎 貴代



9 月に入ったころから、息子の翔平がせきを頻繁にするようになり、初めはぜんそくの症状かと思いましたが、次第におう吐を伴う猛烈なせきへと変わっていききました。そのせきはなかなか治まらず、22 日より高熱も出はじめました。せきをする、おう吐の繰り返しで、次第に食欲も元気もなくなり、やせ細り、寝たきりの状態となってしまいました。私は会社にお休みを頂き、翔平も保育園を休み、なるべく自然のものを食べさせるようにと教えていただき、毎日少しずつではありますが、食べられるようになりました。

熱が出て一週間目、自然のみかんジュースで作ったゼリーを頂き、食欲がなかった翔平がパクパクとそのゼリーを完食しました。その食べっぷりには本当に驚きました。その日に、食欲がみるみる戻っていき、起き上がり、遊べるようにもなりました。

今回のことで、食べ物を食べられることの尊さ、活動するすべての源は「食物」なのだと感じずにはいられません。自然農法の作物は、しっかり体に吸収され、体力になるのだと改めて感じました。

しかも、父が今年から自然農法の畑を始めていたので、自然のものがなかなか手に入らない中、父から作物をたくさん頂くことができ、とても幸運でした。本当に短い期間で良くなって、現在翔平はせきも治まり、食欲も以前に増して旺盛になり、元の身体に戻り、元気に過ごしています。

新赴任地での自然農法

四日市市 森 俊之



5 回目の転勤後、はや 1 年半が経過しました。畑の話をするのは慣れっことは思いながら、もうないかなと時々考えていたとき、今回のお話を頂きました。今まで掲載されてきた皆様のような想念ではないと思っておりますが、正直にお伝えします。

赴任後、畑がやりたいと考えておりましたところ、ちょうど父が借りている土地にまだ余裕があることがわかりました。現在の住まいから車で 1 時間ほどの距離ですが、両親の顔も見られるので借りることとしました。

元は田んぼだった所で、地主さんが高齢、息子さんは興味がないということで、草が生えない程度で良いとのこと。有り難いお話に早速、土耕しより開始しました。元は田んぼとはいえ、長らく使用されていなかったためか、土は固く、耕せば石はゴロゴロ出てきました。そんなことは想定済みで、モクモクと精を出し、畑らしくなりました。

何を育てるかと思案した結果、手間がかかる成物は敬遠し、関東赴任時に自家採種してきた「オクラ」を主にすることとしました。オクラは亜熱帯植物で、乾燥にも強い、間引きをきちっとすれば大丈夫だったからです。案の定、夏から秋にかけ、育つは育ち、実が出来るは出来る…そこで、ふっと頭に浮かんだことは、両親以外の人に食べていただくということです。田舎でも、サラリーマンは家庭菜園なさっている人はあまりいないようです。雑談の際、畑の話をして、ふうんという感じ。

しかし、毎週のように畑にいるせいか、顔は日焼け状態が続いた今年 5 月ごろ、出張先の東京で、弊社女性社員より「森さん、日焼けすごいです、何しているのですか？」との問いかけより、家庭菜園、オクラ栽培の話となり、オクラを送ることとなりました。スーパーには、いくらでも売っているものを、どうして欲しいと言ったか理由はわかりませんが、かなり喜んでもらえたようです。さらに 9 月、別の女性社員からも同様の要望を頂き、差上げました。やはり「おいしい！」と喜んでいただけました。

仕事が営業職であることより、相手様の笑顔が自分の活力になっており、今回のことも同様かと思えます。相手の笑顔が 1 つでも多く見られることは、その瞬間、またはその基は、相手のお役に立って



オクラの花

いることであると思います。このようなことを感じはじめたことは、遅まきながら、この 1 年半です。

今まで勉強させていただいてきたことが畑の実践を通じて、少しわかってきた気がします。常日ごろより、岡田茂吉師の教えをわかりやすく解説いただいている先輩方や皆様より、今後も勉強させていただきながら、自分ができることをやっていこうと思っております。

感謝の気持ち、ありがとうございます。

木島平の稲刈り

10 月 5 日と 9 日、長野県木島平の堀農園の稲刈りのお手伝いに数名の方々が行かれました。その感想を一部ご紹介します。

● たわわに稔った稲が本当に見事でした。充実した稲穂が重みでしなり、それをしっかり支えるために、たくましい間接が出来ている様子に、力強さを感じました。折れたり倒れたりしない、しなやかであり、強い稲には感動しました。

10 月 30 日の東中野頒布会では、このお米でおにぎりとともに、三合パックにして販売していただけることになり、本当にうれしいです。自然農法のお米を初めて味わう方の顔を見るのが今から楽しみです。大勢の方に自然農法のことを知っていただくには、とにかく、食べて感じていただくことだと思っています。なぜ農薬や肥料を使わないのか？ これからの食生活、農業について考えるきっかけになって欲しいです。

● 現地では、稲架掛け(はざかけ)を手伝いました。今は地域柄もあるそうですが、稲架掛けをせず、コンバインで稲刈りをするケースが多いようです。

なぜ稲架掛けをするか堀さんに聞くと、「稲を刈るときは、まだ茎などが青い部分がある。その青い部分の栄養が、稲架掛けによって稲穂に届き、それが旨味を増すそうだと教えてくださいました。自然の力、恩恵を最大限受けて稲架掛けされた稲たちはとてもきれいで、微笑んでいるようでした。

今回初めて稲刈りに行き、一つの稲についているお米の数の多さに驚きました。農薬や肥料を一切使用しない自然農法で、間違いなく作物が出来ている証拠の品を目の当たりにし、自然農法の尊さを実感しました。

● 黄金色の稲穂は頭を垂れることなく元気でいるように感じました。けっして実が軽いわけではなく、茎がしっかりと力強く稲穂を支えているように思えました。刈り取った稲穂を天日の竿に干すと、その竿がたわむ様子に、堀さんの奥様が喜び、感激している姿をみて感動しました。2 年ぶりの稲刈りは感激、感動、カンカン晴れの 3 カン王でした。



お知らせ

- 自然農法農産展 11 月 3 日(祝) 展示 / 11 月 20 日(日) 販売
 - 自然農法勉強会 10 月 26 日(水) 午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~
 - 自然農法頒布会 10 月 30 日(日) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)
 - 自然農法頒布会 11 月 28 日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)
- 《 鎌ヶ谷の頒布会は 5 周年を迎えました! 》

無施肥無農薬栽培物の販売予定

11 月 3 日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 自然米 1kg、もち米 1kg、春菊、カブ、ダイコン、野沢菜、きじま弁当
- 市川生産グループ: ほうじ茶、煎茶
- 中島農園: 下仁田ネギ、長ネギ、コマツナ、チンゲンサイ、カブ、ダイコン
- ジョリフィーユ: かぼちゃのモンブラン、スフレタイプのチーズケーキ、マドレーヌ、プリン ほか
- 長柄山自然農園: 卵、鶏のくんせい

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp

T O R E K 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>